

「新聞で明るい未来を」 名古屋でNIE大会



座談会で児童、生徒の代表と話す名古屋大の天野浩教授（左）と女子レスリング五輪金メダリストの吉田沙保里さん＝3日午後、名古屋市熱田区の名古屋国際会議場

学校の授業など教育の現場で新聞を活用するNIE（ニュースペーパー・イン）の第22回全国大会が3日、名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）で始まった。4日までの2日間、教育・新聞関係者らが教育と新聞の在り方について考える。

毎年開催されており、今回のテーマは「新聞を開く世界をひらく」。青色発光ダイオード（LED）の開発で2014年にノーベル物理学賞を受賞した天野浩・名古屋大教授は3日の記念講演で「新聞は私にとって『未来の羅針盤』。今の世界を映す鏡なので、若い人たちには新聞を素材にして明るい未来をつくってほしい」と呼びかけた。

この後、天野さんと女子レスリングの五輪金メダリスト、吉田沙保里さん、児童、生徒の代表らが壇上で座談会を行った。

愛知県立時習館じしゅうかん高校3年の鈴木杏奈さん（17）は関心がある記事は切り抜いているといい、「家族にひいおばあちゃんもいるので、高齢化社会の問題についての記事をよく読んでいる」と笑顔で話した。

4日は分科会などが行われ、愛知県内の小中高校のNIE実践校などが報告や公開授業を実施する予定。